

「サリバ検査日 4」の作成

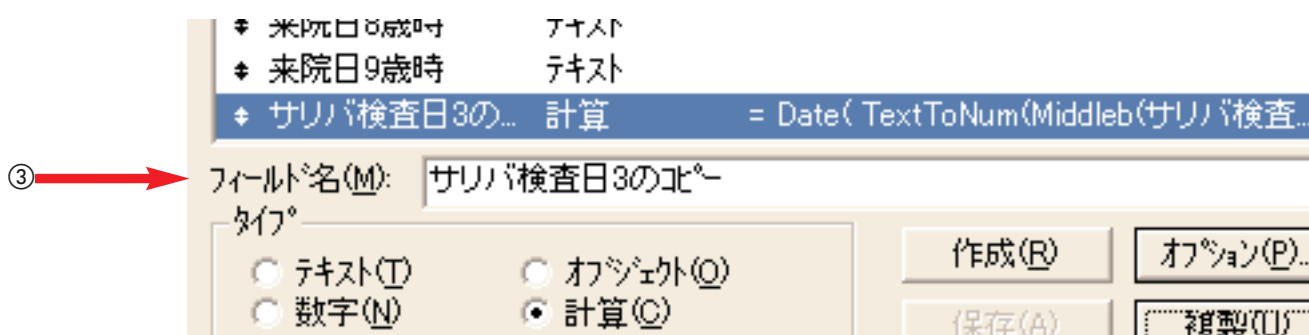
1. ウィステリアを立ち上げ、メニューバーの「ファイル」から「フィールドの定義」を選びます。



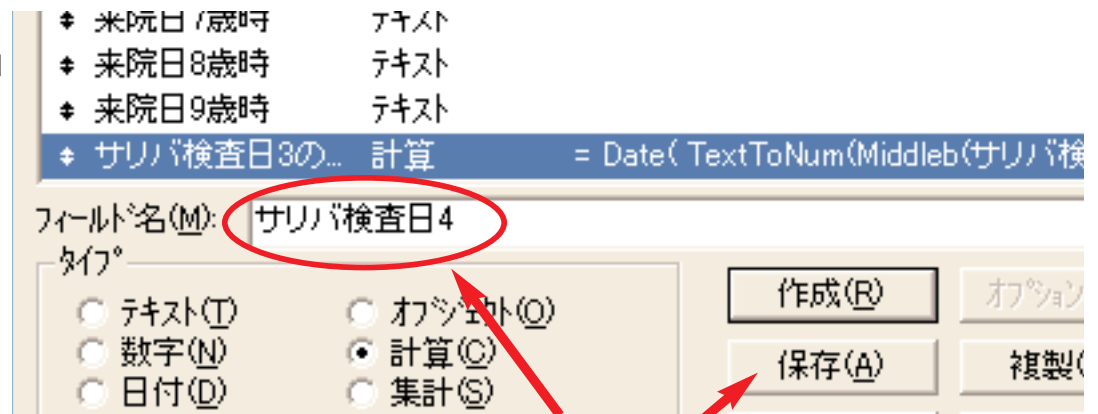
2. 「フィールド定義」のダイアログボックスが表示されますので、右上の[表示順]を「フィールド名」にし、[サリバ検査日 3]を選んで「複製」します。



3. [サリバ検査日 3のコピー]が一番下の作成され、[フィールド名]にも表示されます。

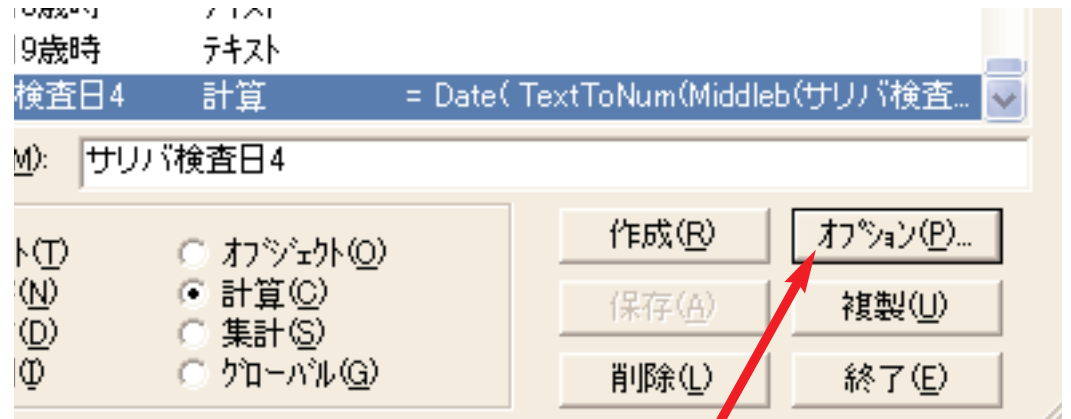


4. 3 で作成したコピーのフィールド名を[サリバ検査日 4]と変更し、保存します。



④ 変更し保存する

5. 次に右下の[オプション]をクリックします。



⑤ クリック

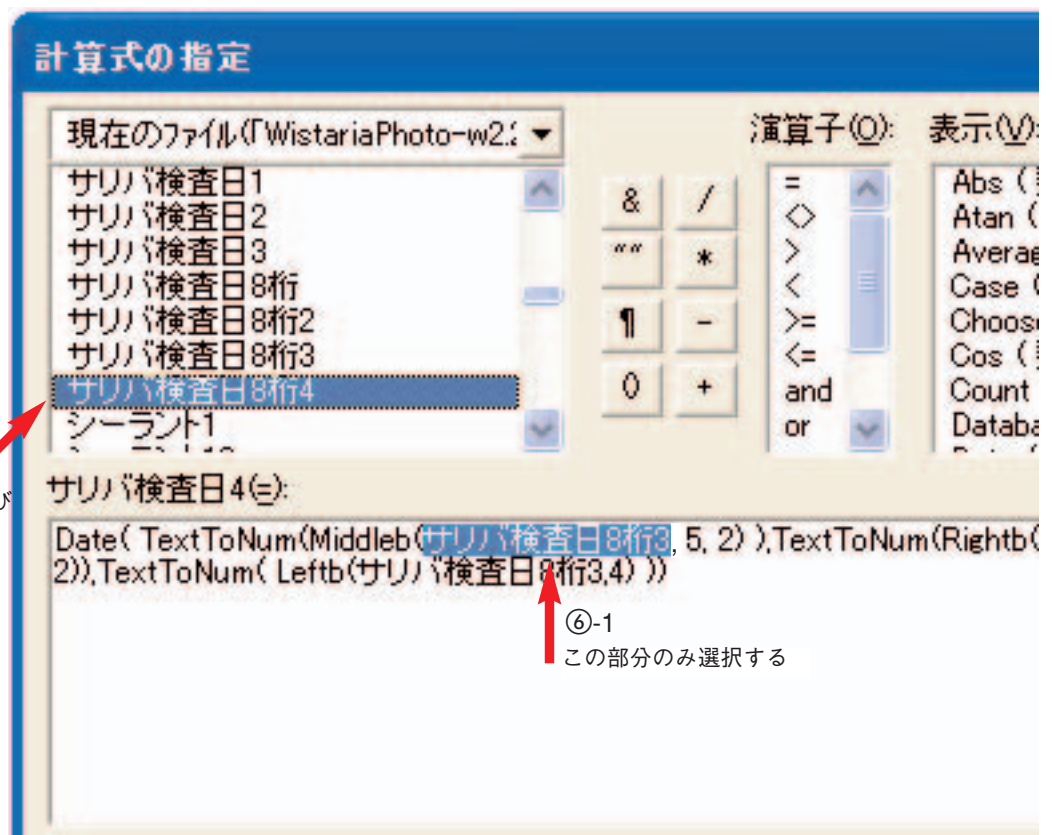
6. [計算式の指定]ダイアログボックスが表示されます。

⑥-1 計算式内の[サリバ検査日 8桁 3]の部分を選択させます。

(、5、2の部分を選ばないように注意してください)

⑥-2 左上の窓の[現在のファイル...]から[サリバ検査日 8桁 4]を選びダブルクリックします。

⑥-2 スクロールさせて選びダブルクリック



⑥-1 この部分のみ選択する

7. 下図のように計算式が変わります。[サリバ検査日 8 桁 3, 2][サリバ検査日 8 桁 3, 4]となっている部分の「3」を [サリバ検査日 8 桁 4, 2][サリバ検査日 8 桁 4, 4]となるように「4」に変更します。

BMLフッ素使用状況
BMLフッ素使用状況スコア
BMLフッ素洗口

サリバ検査日4(=):

```
Date( TextToNum(Middleb(サリバ検査日8桁4, 5, 2) ),TextToNum(Rightb(サリバ検査日8桁3, 2)),TextToNum(Leftb(サリバ検査日8桁3,4) ))
```

「3」を「4」に変更

変更した状態

```
Date( TextToNum(Middleb(サリバ検査日8桁4, 5, 2) ),TextToNum(Rightb(サリバ検査日8桁4, 2)),TextToNum( Leftb(サリバ検査日8桁4,4) ))
```

8. [繰り返し
クリックして
チェックを
はずす

フィールドの最大
繰り返し
枠]のチェックをはずし、

[OK]→[終了]します。

```
Date( TextToNum(Middleb(サリバ検査日8桁4, 5, 2) ),TextToNum(Rightb(サリバ検査日8桁4, 2)),TextToNum( Leftb(サリバ検査日8桁4,4) ))
```

計算結果(C): 日付

繰り返しフィールドの最大繰り返し数(R): 10 個

式内の全フィールドの値が空欄の時、計算しない(D)

索引オプション
OK

[OK]します

来院日9歳時 テキスト

サリバ検査日4 計算 = Date(TextToNum(Middleb(サリバ検査...

フィールド名(M): サリバ検査日4
タイプ

テキスト(T) オブジェクト(O)

数字(N) 計算(C)

日付(D) 集計(S)

時刻(Q) グローバル(G)

作成(R) オプション(P)...

保存(A) 複製(U)

削除(L) 終了(E)

[終了]します